

## 学 会 録 事

昭和52年10月13日～14日にわたって開かれた九州大学での日本植物学会大会の開催を機に、本学会の総会、懇親会と評議員会・編集委員会合同会議が開かれた。

## 1. 評議員会・編集委員会合同会議

10月13日に開催予定であったが、当日の研究発表プログラムの関係で急に10月12日(17:30～21:00)に変更して福岡市内はかた会館で開催された。

出席者：西澤一俊会長 評議員：正置富太郎、有賀祐勝、加崎英雄、千原光雄、三浦昭雄、横浜康継、今堀宏三、梅崎 勇。編集委員：小林 弘、秋山 優、今堀宏三、黒木宗尚、千原光雄、広瀬弘幸。幹事：山岸高旺、古谷庫造、市村輝宜、大島海一。山田博士追悼号刊行委員会：黒木宗尚、吉田忠生の諸氏。

総会に提出する審議事項の審議がなされたが、総会提出予定の議案の一部は去る4月1日(於東京学芸大学)の評議員会・編集委員会合同会議と6月17日の持廻り評議員会で既に審議が終了しているので、52年度春期大会関係報告、山田幸男博士追悼号刊行事業経過報告と学会誌「藻類」の投稿案内とについて審議された。

## 2. 昭和52年度総会

10月13日(17:00～18:30)、植物学会大会F会場、議長 田中 剛氏(鹿児島大)。

1. 庶務関係報告事項 (1) 会員状況：普通会员467名(内学生会員27名)、外国会員38名、団体会員41名、名誉会員1名、賛助会員12名(52・9・1現在) (2) 春季大会報告(詳細は本誌2号に掲載、省略) (2) 52・4・1評議員会・編集委員会合同会議および6・17持廻り評議員会報告(本誌2号掲載、省略) (3) 名簿の件 (4) 山田幸男博士追悼号刊行事業経過報告。本誌25刊補遺として刊行された記念号はすでに会員各位の手に届けられているが、これらの刊行事業の経過報告、会計中間報告について黒木宗尚実行委員長と吉田忠生氏とから詳細な報告がなされ、同時に刊行事業の推進に当って会員諸氏から多大の協力を寄せられたことに対し謝辞が述べられた。

## 2. 会計報告

52年度会計中間報告がなされ、了承された。

## 3. 審議事項

(1) 春期大会運営補助金支出の件。今後定期的に開催される春期研究発表大会に運営補助金として6万円を支出することが提案、承認された。本年は予備費から支出し、来年度からは新しく支出項目として加わる。春期大会は参加費、運営補助金、賛助寄付金で運営し、学会の本会計とは別会計とする。(2) 51年度決算報告ならびに監査報告。別

表①の報告があり、承認された。(3) 53年度事業計画ならびに予算案。53年度の新しい事業内容としては会誌の判が変更されること、春期大会の開催、役員改選などがあるが、それらを含めた予算案、別表②が提案され、承認された。(4) 53年度春季大会の件。53年4月1日、東京学芸大学に於て開催することが提案され承認された。(5) 編集関係。会誌「藻類」が53年度26巻1号よりB5版2段組に変更(51・10富山大会で決定)になり、それに伴う投稿規定、印刷体裁などの変更について長時間にわたり、熱心に討議されたが、会員諸氏の発言をもとに、評議員会ならびに編集委員会に於て、更に慎重に検討を加えて成案をつくることになった。(本誌26巻1号に掲載予定)

3. 学会誌「藻類」への投稿原稿超過頁負担金と広告掲載料 26巻1号から会誌がB5判に変更されるに伴ない、超過負担金は1頁7,000円に、広告掲載料は1頁13,000円、半頁7,000円(但し組版代は別とする)に改訂することが評議員会・編集委員会合同会議で承認され、26巻1号から適用されることになった。

表① 昭和51年度決算報告(1・1~12・31) 日本藻類学会

収 入		支 出	
会 費	1,750,012	印 刷 費	1,853,785
国内 464 (57)*	1,568,808	会誌23巻3, 4号, 24巻1~4号	
国外 40 (5)	181,204	賛助会員申込用紙, 選挙用紙, 別刷	
バックナンバー売上金	379,691	発 信 費	67,970
別 刷 代	235,300	通 信 費	94,780
論文頁数超過負担金	10,000	消 耗 品 費	14,780
銀 行 利 子	18,478	謝 金 (事務補助)	34,500
(小 計)	(2,393,481)	幹 事 手 当	80,000
前年度繰越金	1,071,227	山田博士追悼記念号準備金	50,000
		送 金 手 数 料	1,630
* はインデックス代金		(小 計)	(2,197,445)
		残 額 (次年度繰越金)	1,267,263
収 入 合 計	3,464,708	支 出 合 計	3,464,708

昭和52年2月5日 日本藻類学会 会 長 西澤一俊 ㊦

本決算書は適正なものと認める 会計監事 岩本康三 ㊦

古谷庫造 ㊦

表② 昭和53年度予算(53・1・1~12・31) 日本藻類学会

収 入		支 出	
会 費	1,690,000	印 刷 費	1,670,000
普通会员440名, 学生会員27名		会誌26巻1~4号	1,600,000
外国会員 40名, 団体会員40名		選挙関係	70,000
賛助会員 14名		発 送 費	120,000
バックナンバー売上金	300,000	会誌発送, 選挙関係	
別 刷 代	250,000	通 信 費	100,000
論文頁数超過負担金	40,000	編 集 費	50,000
預 金 利 子	20,000	庶 務 雑 費	220,000
山田博士追悼記念号準備金	50,000	春季大会運営補助金	60,000
の返納金		幹 事 手 当	80,000
(小 計)	(2,350,000)	送 金 手 数 料	10,000
前年度繰越金	850,000	(小 計)	2,310,000
		予 備 費	890,000
収 入 合 計	3,200,000	支 出 合 計	3,200,000

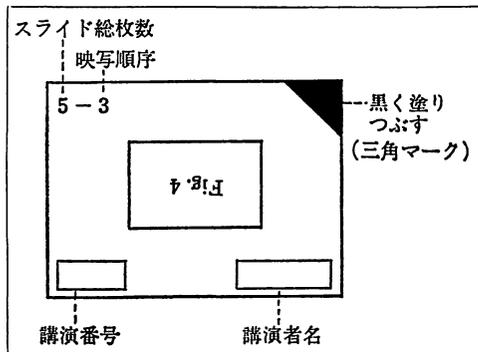
〔賛助会員〕

社団法人北海道水産資源技術開発協会 060 札幌市中央区北3条西7-1 水産会館内  
 秋山茂商店 150 渋谷区神宮前1-21-9  
 海藻資源開発株式会社 160 東京都新宿区新宿1-29-8 財団法人公衆衛生ビル内  
 協和醸酵工業株式会社農水産開発室 100 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル  
 全国海苔貝類漁業協同組合連合会 108 東京都港区高輪2-16-5  
 K.K. 白寿保健科学研究所・原昭邦 173 東京都板橋区大山東町32-17  
 浜野顕微鏡商店 113 東京都文京区本郷5-25-18  
 株式会社ヤクルト本社研究所 189 東京都国立市保谷1796  
 山本海苔研究所 143 東京都大田区大森東5-2-12  
 弘学出版株式会社 森田悦郎 214 川崎市多摩区生田8580-61  
 永田克己 410-21 田方郡葦山町四日町227-1  
 全漁連海苔海藻類養殖センター 440 豊橋市吉田町69-6  
 神協産業株式会社 742-15 熊毛郡田布施町波野962-1

## 日本藻類学会 春季大会のお知らせ

昭和52年10月13日九州大学で開催されました本学会総会において提案、承認のありました日本藻類学会第2回春期大会を下記の要領で開催の予定です。藻類に関係のあるあらゆる分野の研究についての発表と討論を広く募集致します。なお、大会当日は日本水産学会の前日でもありますので、特に水産関係の方々の多数の発表とご参加をお願い致します。つきましては、所属機関長へ出張要請等の文書などご入用の方はご遠慮なく学会事務局まで宛先を明記してお申込み下さい。

- (1) 期 日 昭和53年4月1日(日本水産学会春期大会の前日)
- (2) 会 場 東京学芸大学(東京都小金井市貫井北町4-1-1, 国電中央線武蔵小金井駅北口下車, 小平団地行バスにて東京学芸大学正門前下車)
- (3) 研究発表 1演題につき15~20分を予定しています。研究の完了したものは勿論のこと、研究途上のものでも、情報交換のため、または他の研究者の参考のため歓迎します。
- (4) 参加申込み 講演の有無にかかわらず、大会に参加を希望される方は、同封の振替用紙にて、申込と同時に、参加費1,000円、懇親会(当日夜開催)に出席希望の方はさらに会費2,000円を添えてお送り下さい。
- (5) 講演申込み 講演ご希望の方は、氏名(共同の場合は演者に◎印、但し本学会会員の方)、所属、題名、要旨(A4またはB5 400字詰原稿用紙使用、題名共600字以内: 1枚半)を添えて大会準備委員会までお申込み下さい。
- (9) 発表方法 図・表はすべて35mmスライドに限ります。スライドの枚数制限はありません。スライド枠には、下図のように講演者氏名、講演者番号(後日おとどけする大会プログラムに記されているもの)、スライド総



数、映写順序、三角マークを記入して下さい。同一図、表をくり返し映写したい場合は、それに見合う枚数をダブらせてご用意下さい。

(7) 〆 切 53年1月20日

(8) 申込先・要旨送り先

〒184 東京都小金井市貫井北町  
4-1-1 東京学芸大学生物学教室  
日本藻類学会春期大会準備委員会  
振替 東京 0-62353

Tel. 0423-25-2111 (内線 341)